

○昨年10月以降のCSTI有識者議員懇談会において、**各目標の継続・終了を決定するCSTI5年目評価の視点を明確化し、**現在の研究開発の進捗状況を踏まえた**後半5年の期間に反映すべき制度の改善点についても後半が始まるR7年度からの施行に向けて洗い出しを実施。**

運用・評価指針

4. 研究開発の実施方法

【実施期間】

○CSTIは、研究開始時点から5年目にMS目標に対する進捗状況、今後のMS目標の達成の見通しを評価し、MS目標の達成に向けた研究開発（プログラム）の継続・終了を決定する。

スケジュール

(R5 10～12月)

10月5日 CSTI有識者議員懇談会 PD報告（目標5）
 11月16日 CSTI有識者議員懇談会 PD報告（目標4）
 11月30日 CSTI有識者議員懇談会 PD報告（目標1、6）
 12月21日 CSTI有識者議員懇談会 PD報告（目標2、3）

(R6 1月～)

1月11日 CSTI5年目評価の準備
 2月15日 CSTI5年目評価実施要領 議論
 4月11日 CSTI有識者議員懇談会 PD報告（目標7）
 5月以降 CSTI有識者議員懇談会 PD報告（目標8、9）

(4月以降)

○CSTI5年目評価(有識者議員懇談会)
 4月18日 目標4及び5よりヒアリング
 5月16日 評価結果案審議
 ○6月以降 CSTI本会議（決定）

(夏以降)

○後半(R7年度～)の施行に向けた制度の改善点について議論
 ・CSTI5年目評価での指摘事項の反映
 ・ImPACT追跡評価結果のフィードバック
 ○運用評価指針に基づく外部評価
 ・CSTI5年目評価とは切り分けて実施

■ 評価方法

CSTI有識者議員懇談会を2回開催し、CSTI5年目評価を実施する。

- 1回目にて、目標の進捗および見通しを以下の評価の視点に従って報告しコメントをいただく。
- 2回目にて、コメントへの対応と共に目標の継続・終了の案を報告する。
- CSTI本会議において、評価対象となる目標の継続・終了を決定する。

■ 評価の視点

○MS目標に対する進捗状況

2030ターゲットに向けた進捗状況を個々のプロジェクトの進捗ではなく、MS目標を達成するための進捗及び課題の把握と理解の状況について評価する。

○今後のMS目標の達成の見通し

後半5年を含め目標達成に向けたシナリオを点検した上で課題等の整理状況とそれらの対応方針について評価する。

(報告時の留意点)

- 進捗状況や達成の見通しを報告する上で必要な2030ターゲットの明確化・詳細化
- 2030ターゲットと各プロジェクトとの関係整理、課題や不足する技術等に対応するためのターゲットやポートフォリオの見直しの方向性
- 世界中からの英知の結集や失敗を恐れず挑戦的な研究などMS制度の基本的な考え方における特徴を踏まえた取組についての状況や課題など